

業務オーナーによる 最適な業務プロセスを 実現する方法

＜システム化案件の効果的な進め方＞

2015年10/6(火) 10/13(火)・10/20(火) 半日×3日 開催

満足する業務プロセスとシステムを手に入れる！

投資のムダや機会損失などを防ぐ！

そのための3つのポイントを半日×3日で集中的に学びます。



業務主体に進める！
(IT経験を必要としません)



演習と講師の豊富な
経験を交えた実践的
プログラム



●2014年度受講者の声

システム導入メンバーになったものの、とりまとめの進め方が正しいか悩んでいた。事例や参加者の方との話で自分だけじゃなかった！と思えた(サービス業)

業務部門にぜひすすめたい(金融業)

業務オーナーとしての目的を振り返る良い機会になりました(一般消費材製造会社)

業務改善を進めていく上でははずせないポイント(原則)がありました(一般消費材製造会社)

事例紹介も多くあり、イメージが付きやすかった(サービス業)

実体験と豊富なコンサル経験がベースで、質問にも的確に回答して頂けた(金融業)

原則論を学んで、フロー図などの訓練したので良かった(金融業)

体系的に考えるようになった(金融業)

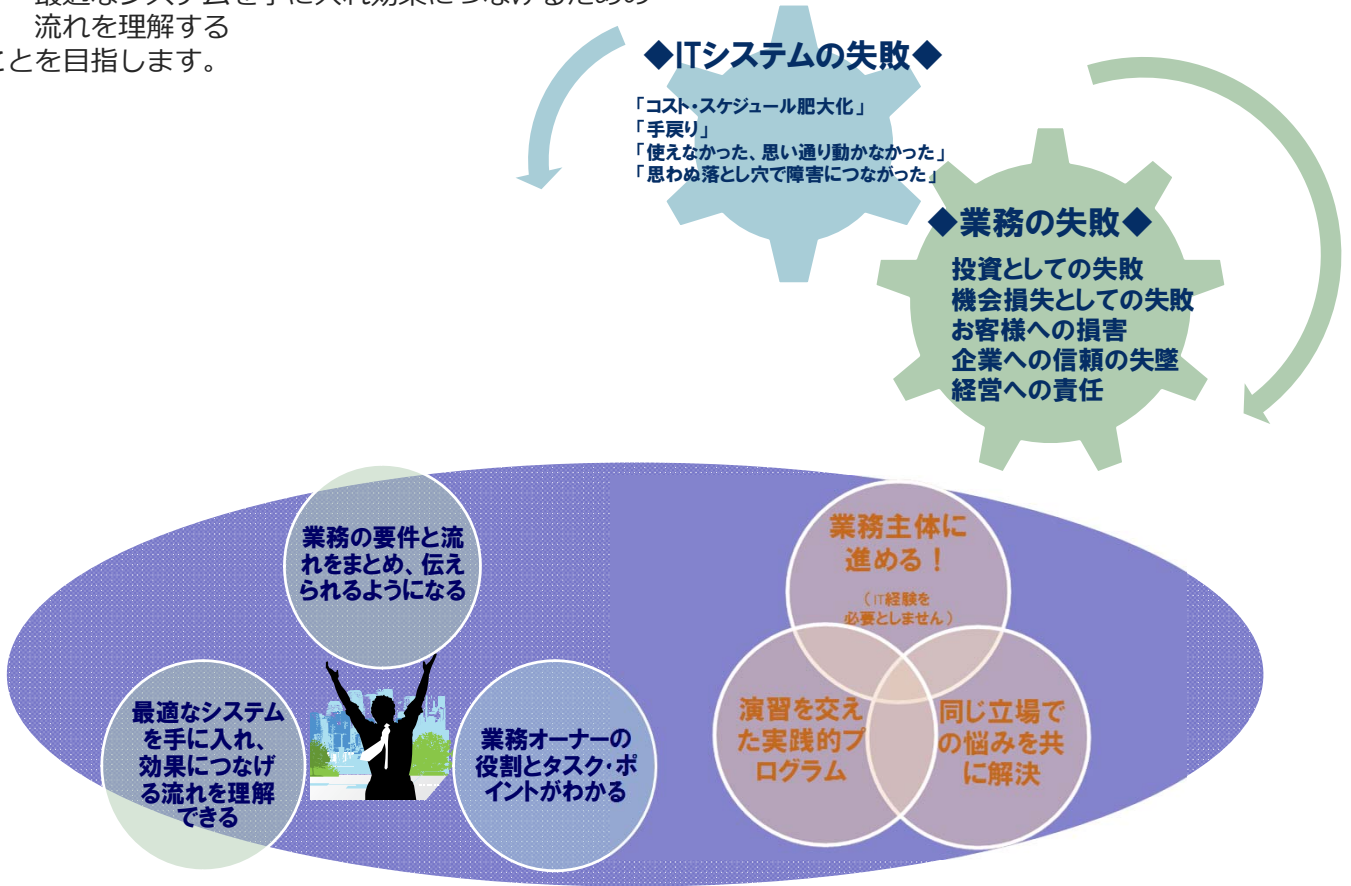
●プログラムの特徴

業務プロセスとITは、切っても切れない関係にあります。その失敗は、投資のムダや機会損失など、業務そのものの失敗を引き起こしかねません。

本コースでは、満足する業務プロセスとシステムを手に入れるための3つのポイント、

- ・業務の要件と流れをまとめ、伝えられるようになる
- ・役割とタスク、ポイントを把握する
- ・最適なシステムを手に入れ効果につなげるための流れを理解する

ことを目指します。



●カリキュラム概要

※カリキュラムは変更することもございます。

1日目：10/6（火）13:00-19:00
(ゼミ終了後～19:00まで意見交換会)

2日目：10/13（火）13:00-18:00

◆業務の全体像を描くための基礎知識

- ・業務オーナーの役割とは：成功のために期待されている事柄、望まれる業務の内容
- ・システム化案件全体のおおまかな流れ、役割分担とは
- ・問題の構造を明らかにする技術
- ・業務のあるべき姿を明らかにする技術
- ・業務の全体像を明らかにして、システム化範囲を検討する技術

講義＋演習

業務の全体像を描く力

◆業務改善知識と業務フロー

- ・業務改善の基礎知識：業務のQCD、業務プロセスの目的を明らかにする
- ・業務改善のための視点
- ・業務や帳票の見直し方法
- ・業務の目的・流れを改めて理解する：業務フローを描く

講義＋演習

業務を見つめ直す力

◆実状情報交換ゼミ（1）

- ・参加者同士による実状の情報交換

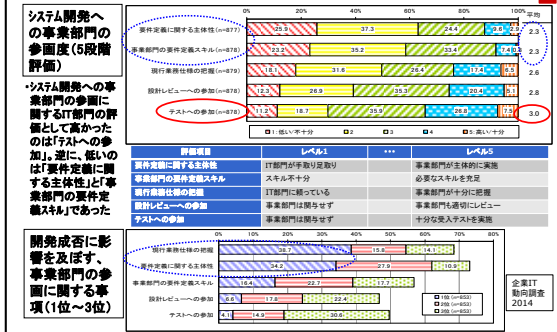
WS

磨き合う

●成功のカギは「明確化」と「事業部門の参画」

●やりたいことと流れさえ明確化できれば8割成功できる！

＜システム開発への事業部門の参画度＞ IT部門は事業部門の要求を正しく把握し、システム開発を行う必要があるが、まず事業部門がしっかり要件を主体性を持って提示できるかがカギとなる



仕様明確度	スケジュール	
	予定より早い/予定通り	予定より遅れ
非常に明確 (n=106)	83%	17%
かなり明確 (n=403)	78%	22%
ややあいまい (n=246)	66%	34%
非常にあいまい (n=32)	44%	56%

仕様明確度	全体的な満足度			
	満足	やや不満	不満	未回答
非常に明確 (n=112)	85%	7%	6%	2%
かなり明確 (n=446)	71%	22%	3%	4%
ややあいまい (n=276)	50%	36%	8%	5%
非常にあいまい (n=34)	35%	35%	24%	6%

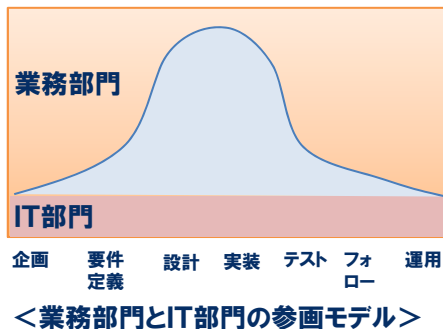
しかし、それを正しく明確に伝えることは意外に難しいのが実態です。

システムは人の頭脳のように臨機応変に自分で考えられません。そのため業務の意味や「なぜ？」を1つ1つITシステムにわかるように洗い出し正確に表現することが必要になってしまいます。

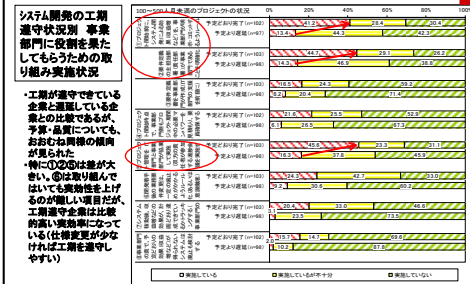
Why?

●業務の「オーナー」しかできない役割とポイントを押さえる！

業務を一番理解し、システム化の判断ができるのは、業務の「オーナー」しかありません！
業務の「オーナー」しかできない役割とポイントを押さえれば、成功をぐっと引き寄せることができます。



QCD優良企業は、事業部門に役割を果たしてもらうための仕組み作りも進んでいる。工期が予定どおり完了している企業は、仕組みづくりを実施している企業が多い。



3日目：10/20(火) 13:00-19:00
(ゼミ終了後～19:00まで意見交換会)

◆業務要求(業務要件定義書)をまとめる

- 自分たちにとって使いやすいシステムとは
- 業務を実現する要求、使い勝手：機能要求と非機能要求
- 要求を仕様にとまとめる
- 今後の勉強のために

リクエストをまとめる力

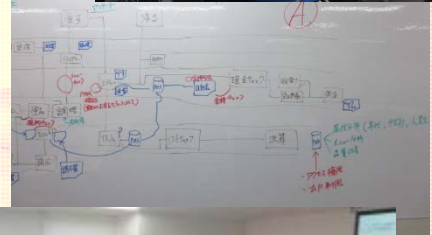
講義+演習

◆実状情報交換ゼミ(2)

- 参加者同士による実状の情報交換

磨き合う

WS



● 2014年度ご参加企業（10社13名・50音順）

株式会社IHIエスキューブ
 旭化成ケミカルズ株式会社
 アサヒビジネスソリューションズ株式会社
 アサヒプロマネジメント株式会社
 キリン株式会社
 株式会社ジェーシービー
 ソニー損害保険株式会社
 東京ガス株式会社
 株式会社パソナ
 株式会社ファミリーマート

● 役職
 マネージャー～リーダー
 クラスの方が中心

● ご担当業務
 ・ 業務系 38%(5名)
 ・ IT企画系 32%(4名)
 ・ IT運用系 15%(2名)
 ・ IT開発系 15%(2名)



● 講師

尾田 友志 (おだ ゆうじ)氏 マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表

株式会社 日本エル・シー・エー 経営開発部 コンサルタント、青山監査法人/プライスウォーターハウスのシニアマネージャー、日本マンパワー バリューマネージャー養成講座 主任講師、中央青山監査法人/PricewaterhouseCoopers ディレクターを経て、現在、マネジメントテクノロジーズ, LLC 代表。

<専門分野> 経営工学(統計・オペレーションズリサーチ)、財務・管理会計

※講師は、ユーザーの立場で情報システムの導入と現場への定着を数多く経験しており、さまざまな失敗事例も見つけています。



● 開催概要

開催日	1日目：2015年10月 6日(火) 13:00-19:00 (意見交換会あり) 2日目：2015年10月13日(火) 13:00-18:00 3日目：2015年10月20日(火) 13:00-18:00 (意見交換会あり)
場所	日本情報システム・ユーザー協会会議室 (東京都中央区日本橋)
参加費	会員価格：88,200円 一般価格：110,000円 (テキスト・消費税を含む)
対象	事業部門において主導的にシステム化を推進する方、 自部門のサービス・商品・業務の推進のためにシステムを活用したい方
定員	25名
お申込	WEBよりお申し込みください。 https://juasseminar.jp/seminars/view/4115118